

2017年 夏季セミナー

UV印刷を取り巻く 最新の技術動向

小ロット・多品種化が益々進む印刷に於いて、
最新の技術動向を元にUV印刷の価値を探る。

日時：2017年6月15日(木) 13:00~17:00(12:30より受付)

会場：モリサワ本社 4階セミナーホール

Tel:06-6649-2151

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25 地下鉄御堂筋線・四つ橋線 大国町駅(1番出口2分)

拝啓 貴社ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。平素は格別なるお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

さて、印刷学会西部支部では夏季セミナーを開催します。今回は、省電力UV印刷機の導入が急速に進んでいる状況を踏まえて、UV印刷関連の最新技術動向をコンパクトにまとめて紹介します。

ご多用とは存じますが、万障お繰り合わせのうえ、ご参加くださいますよう、宜しく願い申し上げます。

〈プログラム〉 開会の挨拶 (一社)日本印刷学会 西部支部 支部長 出井豊二 13:00-13:05

1. LED-UVを利用した高付加価値印刷と環境対応

13:05 お客様に新しい付加価値を提供し続けている会社「ジャパン・スリーブ」のLED-UV
印刷への取組みをリアルに紹介する。
14:00 株式会社ジャパン・スリーブ 部長 板倉 英二氏

2. 水なし印刷の基礎と水なしUV印刷について

14:00 環境に優しい印刷方式である水なし印刷の基礎と、更には水なしUV印刷の特
徴、注意点などについて再考する。
14:55 東レ株式会社 印写販売部 青木 新悟氏

3. プロセスレスプレートの最新動向

15:05 刷版においては「機上現像型の無処理CTP」の導入が進んでいる。今回は、リ
リースされたばかりの「高感度UV印刷」対応の「新無処理CTP版」の実力を探る。
16:00 富士フィルムグローバルグラフィックシステムズ株式会社
技術一部 部長 西川 博史氏

4. 省電力UVインキとパウダーレス油性インキの最新技術

16:00 UVインキや省電力UVインキの特徴とその使用例を、油性インキと比較して
16:55 分かり易く語る。
株式会社T&K TOKA
技術本部 研究第二グループリーダー 伊津 耕一氏

申込先：日本印刷学会のホームページの「セミナー・講座・シンポジウムの参加登録」からお申し込みください。
<http://www.jspst.org/>

定員：80名(定員になり次第締め切ります)

参加費：会員4,000円(要旨集含む)、非会員7,000円

※大阪府印刷工業組合、兵庫県印刷工業組合の組合員は会員扱いとなります。

支払方法：当日現金払い(領収書をご用意いたしております。お釣りのないよう参加費のご用意をお願いいたします。)